

# 大学生の得するお金と生活知識

(詳細学習用)

- ・大学生になるとお金との関わりが増えます。皆さんに知ってもらいたいお金の話と生活の知識を紹介します。(初期学習用を読んだ上で学習して下さい。)
- ・大学生にとって大切なものは、時間とお金です。4年間は長いようであつという間に過ぎていきます。計画的に取り組んで下さい。
- ・お金を管理するためには、①効率的に必要な額を稼ぐ、②無駄な支出を減らすが必要です。そのため経済や金融の知識が必要になります。
- ・経済や金融に関しては多くの教材がありますが、量が多くて、なかなか読み切ることができません。実際に得になることから、①使う順番に、②最低限の解説でまとめました。

## 1. 学割

- ・学割は学生に対する割引です。10~20%程度の割引となり、お得です。
- ・学割は交通機関、宿泊、美術館や博物館、映画館の入場料、自動車学校など、幅広くあります。

学割の特典を受けるためには学生である証明の学生証が必要です。学生証は必ず携帯しましょう。学生証だけでなく、マイナンバーカードは公的な身分証明になります。

### 交通

大学生は旅行する機会が多いため、旅費を節約することはメリットがあります。  
例、名古屋から新幹線で東京に行く場合 約2,000円もお得になります。

	新幹線代(名古屋駅~東京駅)
学割なし	往復 22,600円(指定席)
学割あり	往復 20,040円(指定席)

※上記表は一例です。

- ・新幹線：片道101km以上で2割引(中学生以上)
- ・高速バス：各会社によります
- ・飛行機：最大50%割引になる会社もあります
- ・定期：中・高校生の通学、その他の通学、通勤の三種類

### 自動車免許

- ・自動車教習所：学生プランや学校に提携している教習所があります

### その他

- ・サブスク
- ・動画配信サービス
- ・音楽アプリ

動画や音楽だけでなく、送料が無料になったり即日配送ができるものもある

- ・美容  
美容院でのマツエク、マツパ、ネイル、脱毛の学生プランがあります

- ・娯楽  
カラオケや映画の学生料金、飲食店での学生証提示での割引等

- ・資格  
学生は一般の受験より割引、大学主催の試験だと一般の受験より安くなることもあります

- ・デジタル機器  
パソコンを使う機会が増えますが、AppleやMicrosoftのパソコン、タブレット等の割引、ソフトウェアの割引  
・大学生のうちにしか使えない施設を有効的に利用する大学図書館、就職支援、大学の提携施設(宿泊施設等)

## 2. 奨学金・教育ローン

- ・大学の学費等のために奨学金を借りることができます。
- ・奨学金は貸与型が多く、教育ローンと同じで借金ですので必ず返済しなくてはなりません。
- ・4年間で数百万円を借りることができますが、利子の有無などの返済の条件に十分に注意が必要です。

参考 独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) <https://www.jasso.go.jp/>

## 3. アルバイト

・休ませてもらえない、過剰な負担で勉強ができなくなるといったことがないように、最低限の時間で効率的に、必要な額を稼ぐようにして下さい。

・年間の収入を 103 万円以下にした方が、親の扶養控除を外れない、自分で税金や社会保険料を払わなくて済むというメリットがあります。

- ・学生が知っておくべきポイント

### 扶養控除

「扶養」とは同じ生計で生活し、所得が一定額以下である家族のこと

(条件) ・16 歳以上であること

- ・他の親族の扶養親族になっていないこと

年間 103 万円以上の収入を得ると、親の扶養家族から外れることとなります。そうなった場合、親の支払う税金が増えることとなります。

### 税金がかからないアルバイト収入

- ・住民税 93～100 万円以下
- ・所得税 103 万円以下
- ・社会保険料 130 万円以下

### 法定労働時間

労働基準法による労働時間の規準で、原則として1日に8時間、1週間に40時間を超えて労働できません。

(休憩) 8時間以上労働 1時間休憩

6～8時間未満労働 45分休憩

### 労災

労働者が通勤中や業務中に怪我や病気、障害、死亡に至った場合、必要な治療費や生活費の保証を受けることができます。

### 年末調整

1年間の給与に対して所得税の金額を確定させ、源泉徴収分と精算することで、会社が行います。確定申告が不要になります。

### 確定申告

1年間の所得を申告して、その収入をもとに1年間の所得税を計算して納税する手続きで、主に自営業や個人事業主が対象となります。会社から給与を得ている場合には、年末調整で済みます。(確定申告をしなくてもいい場合もあります。) オンラインで申告できます。

## 4. 銀行

- ・銀行に口座を開くと、アルバイトの収入の振込やクレジットカードの引き落としなどができます。
- ・預金には、いつでも自由に預け入れや引き出しができる財布がわりに使える普通預金と、預け入れ期間を決めて満期まで引き出しができない定期預金があります。
- ・金利は定期預金が高く、普通預金は低くなります。

### ☆貯蓄から投資へ

銀行の預金金利はかなり低い水準です。そのため「貯蓄から投資へ」ということで、資産運用のための投資が行われます。大学生でも投資はできますが、お金を失ってしまうというリスクと得られる利益であるリターンをよく考えて、余裕資金を、分散投資でリスクを低くして運用することが必要です。

## 5. クレジットカード・ポイントカード

・クレジットカードは現金がなくても買い物ができ、支払は1～2か月後に銀行口座から引き落としになります。便利ですが、支払いが先になることや手数料(約10%)がかかることで支払額を把握しにくくなります。

- ・多額の現金を持ち歩かなくて済むことで盗難のリスクが低くなります。特に、海外旅行では安心です。
- ・不正使用をされないように、信用できない店では使わない、疑わしいネットショップでは使用しないで下さい。
- ・分割払いでなく 1 回払いとし、高額な手数料を払わないで済むようにし、かつ、使い過ぎを防いで下さい。
- ・カードを選ぶ際には、年会費無料や効率的にポイントが貯まること、付帯する保険などを考慮して選んで下さい。

キャッシュレス化が進み、クレジットカードや電子マネー、QR コード決済などが必須となっています。現金と違って使った額の把握がしにくいので、計画的に使用して下さい。

## 6. 保険

- ・保険は病気や怪我、事故に遭った時に、高額な医療費などの負担をしなくて済むための補償です。保険料を支払う必要があります。
- ・病気や怪我のための医療保険・傷害保険、交通事故に備える自動車保険・バイク保険、一人暮らしの部屋のための火災保険などがあります。
- ・自分の責任で事故を起こした際に、保険に入っていないと補償しきれなくなる場合があります。

高額な補償を受けるためには高額な保険料を支払う必要があります。バランスを考えて、必要最低限の保険に入るようにして下さい。

- ・大学生が直面する可能性の高い3つのリスクは、①自分の病気・怪我、②他人への怪我・賠償責任（20～24歳の事故が最も多い）、③(一人暮らしの場合)火災や盗難、です。
- ・医療保険は若い時に加入するほど保険料が安く、大学生のうちに入っておくと得になります。また、怪我のみでなく、病気の時の保障もあります。傷害保険は医療保険とほぼ同じですが、怪我の保障のみです。
- ・自動車やバイクの事故では、強制加入である自賠責保険で保障されるのは事故の被害者の怪我、死亡のみで、自分や同乗者の怪我や車の破損は保障されません。そのため任意保険の自動車保険やバイク保険に加入しておくべきです。
- ・火災保険は建物や家財が火災や自然災害などで損害を受けた場合に損害保険金が支払われる保険です。一人暮らしの部屋を借りた場合には、加入を求められることが多いです。
- ・火災保険では、自分の不注意による火災だけでなく、近隣の部屋からのもらい火、自室の設備の故障や上階からの水漏れ、洪水や集中豪雨等の水難、盗難や泥棒の侵入による破損も補償されます。
- ・学生限定の保険として、大学生協が運営している学生総合共済があります。学生本人の病気や怪我などによる入院や通院、死亡時だけでなく、保護者の死亡の際にも給付金を受け取ることができます。また、毎月の掛け金が1200円と手頃であり、国内外の病気、怪我の給付金を受け取れるため、海外旅行を経験したり、留学する大学生にとってニーズが高いです。但し、学生の死亡時の受取額が100万円であるなど、掛け金が安い代わりに給付金の金額が少ないことに注意が必要です。
- ・学生賠償責任保険は学生総合共済が提供しており、学内だけでなくアルバイトやインターンシップなどの日々の生活の中での賠償責任が補償されます。保険料は手頃ですが補償上限が3億円と充実しています。

ライフスタイルや将来に備える必要性などを考慮して、自分に合った保険選びをして下さい。

## 7. 年金

- ・年金とは、老後のための資金を若いうちに準備する積み立てのことです。
- ・20歳になると国による年金である国民年金に加入することになり、毎月年金保険料を払うことになります。
- ・学生は、学生納付特例制度を申請することで在学中の保険料の納付が猶予されます。学生納付特例制度で猶予された保険料は、追納によって10年以内であれば保険料をさかのぼって納めることができます。
- ・追納をしなければ、学生納付特例制度の対象になった期間の分だけ受け取れる年金の金額が減ります。社会人になって早い段階で余裕がある時期に追納しておくことで減額を防ぐことができます。
- ・保険料を6ヶ月分・1年分・2年分をまとめて納める前納という制度があります。前納では保険料が割引になり、かつ口座振替で前納するとさらにお得になります。

### 前納による割引額

	1年前納	2年前納
現金納付	3,530円割引	14,540円割引
口座納付	4,170円割引	15,790円割引

※令和4年度保険料額で計算

年金や保険には、国が運営する公的年金や公的保険と民間企業等が運営する私的年金や私的保険があります。公的な年金や保険は最低限の補償であり、不足すると考える部分を私的な年金や保険で補います。

人生 100 年時代となり、長い老後の期間があります。先のことだからと安易に考えずに、十分な老後資金を準備できるように備えて下さい。

年金制度が将来も維持できるかを心配しますが、財政が健全かどうか、人口や経済の状況に合わせて5年毎に見直しを行っているため給付できるように考えられています。（引用：厚生労働省『年金について知りたいことがすぐに探せる わたしとみんなの年金ポータル』「第二章 みんなの年金 Topic3. 年金の将来は大丈夫？」 <https://www.mhlw.go.jp/nenkinportal/chapter2/topic03.html>）

## 8. 税金

- 商品やサービスを購入する際に支払う消費税や給与等の所得に対して課税される所得税など、多くの税金があります。
- 税金を納めないことは**脱税**として重く罰せられます。一方で、国が認めた方法で税金を安くできる**節税**もあります。
- 年末調整**や**確定申告**は、3. アルバイトを参照して下さい。

## 9. ネットによる詐欺や SNS での発言への責任

- インターネットを利用した**詐欺**が多発しています。ホームページやメールが少しでも疑わしいと思ったら、十分に疑って、慎重に対応して下さい。
- SNS には多くの情報があり、正しく利用すれば割引等のお得な情報を得られます。但し、目的もなく長時間見ること本来すべきことに充てる時間を浪費しないで下さい。
- SNS での発言は内容によっては**誹謗中傷**になり、**損害賠償を求められる**リスクがあります。投稿する前に慎重に確認して下さい。

## 10. その他

- 4年間の大学生活はあっという間に過ぎていきます。大学生のうちにしておくべきこと（学業、資格、インターンシップ、趣味、旅行、アルバイト）は多くあります。将来の目標の実現のために、しっかりした**ライフプラン**を立てて、計画的に取り組みましょう。
- 時間を無駄にしないためには、ちょっとした時間を節約しましょう。例えば、レジでの決済に使う時間をキャッシュレス化で節約する、通学時間で勉強することで有効に使うことができます。（**機会費用**の考え方）
- 大学生で**起業**を目指す人も増えています。起業のためには「誰に、何を、いくらで、どのように売るか」を考えて、しっかりとした事業計画を立てます。資金は融資や**クラウドファンディング**で調達します。
- 世界の人口が増加する中で、資源やエネルギーの節約や、廃棄物の削減が必要です。**SDGs（持続可能な開発目標）**の実現のために、効果的な節約は、個人にとっても、社会にとってもよいことです。

人生 100 年時代となり、将来を考えてしっかりしたライフプランを立てることが必要です。人生では多くの選択の機会があります。特に経済的な選択の問題が多く、「あらゆる問題は経済問題」といえます。その選択にはリスクが伴います。リスクを避けるためには、適切な情報に基づいた判断が必要です。適切な判断のために、また、常に新しいものが誕生するので、それに追いついていくために、学び続けていきましょう。

さらなる学習のためには、下記を参考にして下さい。豊富な情報・教材等が掲載されています。

組織名・名称	URL	内容
金融広報中央委員会「知るぽると」	<a href="https://www.shiruporuto.jp">https://www.shiruporuto.jp</a>	金融経済教育全般
日本証券業協会「金融・証券に関する学習情報」	<a href="https://www.jsda.or.jp/start/">https://www.jsda.or.jp/start/</a>	証券投資に関する内容
全国銀行協会	<a href="https://www.zenginkyo.or.jp/">https://www.zenginkyo.or.jp/</a>	銀行取引に関する内容
生命保険協会「金融・保険に関する学習情報サイト」	<a href="https://www.seiho.or.jp/edu/">https://www.seiho.or.jp/edu/</a>	生命保険に関する内容
消費者庁「消費者教育ポータルサイト」	<a href="https://www.kportal.caa.go.jp/">https://www.kportal.caa.go.jp/</a>	消費に関する取引等

2023年3月20日に椙山女学園大学現代マネジメント学部水野英雄ゼミが作成しました。作成時点の情報ですので、常に最新の情報でご確認ください。引用する際は 出典 <http://www.mgt.sugiyama-u.ac.jp/mizuno/moneytop.html> を明記して下さい。

(2023年5月1日更新)